

Jūn zǐ bú qì
君子不器

君子は器ならず

桜美林大学名誉教授 / 孔子学院講師 植田渥雄 (うえだ あつお)



この表題にある「器」とは何でしょうか。「器」にはいろいろな意味がありますが、ここで言う器とはそれぞれ用途の定まった器物きぶつのことです。これを人間に例えれば、専門分野の決まった人、いわばスペシャリストということでしょうか。では、「君子」とは何でしょう。この言葉は『論語』の中に幾度となく出てきます。『論語』は君子の心得を説いた書物だと言っても決して過言ではありません。それでは『論語』の中の「君子」とはどんな人のことを言うのでしょうか。

これには二通りの意味があります。その一つは人の上に立つ人という意味です。リーダーという意に解してもよいかと思えます。上司と部下という関係から見れば上司を指します。もう一つは、それにふさわしい人格を備えた人という意味です。たとえ地位が上であっても、その地位にふさわしい人格が伴わなければ君子とは言えません。もちろん統率力が問われるわけです。そして統率力ということになると、自分の専門分野だけでなく、あらゆる分野に気配りができなければなりません。

したがって表題の意味は「人の上に立つ者は自分の専門分野にこだわらず、組織全体に目が行き届かなければならない」ということになります。現代風に言い換えれば、ゼネラリストということになるでしょうか。

ところで孔子は何をやらせてもうまくできるマルチ人間だったようです。ある人が孔子の弟子の子貢しこう いささ やゆに聊か揶揄を込めて「あなたの先生は聖人かい。実に多能な人だな」と言うと、子貢はむき

になって「もちろん天も認める聖人といえましよう。更にその上に多能でいらっしゃいます」と答えました。

そのことを耳にした孔子は「吾少也賤。故多能鄙事。君子多乎哉。不多也 (Wú shào yě jiàn。Gù duō néng bǐ shì。Jūn zǐ duō hū zāi! Bù duō yě!)」(吾少くして賤し。故に鄙事に多能なり。君子多ならんや。多ならざるなり)〈子罕第九〉と呟つぶやきました。「私は幼いころ貧乏だった。だから色いろ細ごまとしたことができるようになっただけのこと。君子は多能である必要があろうか。そんなことはないよ」。これがこの呟きの意味です。

他方では「及其使人也器之 (Jí qí shǐ rén yě qì zhī)」(其の人を使うに及ぶや之を器にす)〈子路第十三〉とも言っています。「人を使うときには相手の専門分野に応じて適切に配置する」という意味です。君子はすべての分野で専門家である必要はないが、分野ごとに人々の能力を見極める眼力が求められる。

また「无求备于一人 (Wú qiú bèi yú yì rén)」(備わらんことを一人に求むる無かれ)〈微子第十八〉とも言っています。これは孔子が日頃から敬愛してやまなかつた歴史上の人物周公しゅうこうが、その息子に語った言葉を伝えたものです。上司たるものの、部下にマルチ人間であることを求めてはならない。それよりも部下の、スペシャリストしての能力を引き出すことが肝要である、というわけです。